

I 神奈川県工業生産の動向

1 概要 —生産指数は前年比△2.8%と2年連続して低下—

(1) 生産の動向

生産指数（原指数）は、96.6で前年比2.8%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比0.1%上昇し3期連続して上昇、II期は同0.8%低下、III期も同1.0%低下、IV期も同12.5%低下しました。

<全国及び局管内の動き>

全国の製造工業指数（原指数）は、103.8で前年比3.4%低下し、6年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比0.2%上昇し4期連続して上昇、II期は同1.1%低下、III期も同3.3%低下、IV期も同11.3%低下しました。

関東経済産業局管内の製造工業指数（原指数）は、99.7で前年比4.2%低下し、6年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比0.2%上昇し2期ぶりに上昇、II期は同1.8%低下、III期も同3.3%低下、IV期も同10.1%低下しました。

(2) 出荷の動向

出荷指数（原指数）は、97.7で前年比1.5%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期比0.5%低下し3期ぶりに低下、II期も同1.1%低下、III期は同0.4%上昇、IV期は同11.5%低下しました。

(3) 在庫の動向

在庫指数（原指数）は、103.4で前年末比3.1%低下し、5年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、I期は前期末比2.5%上昇し2期ぶりに上昇、II期は同1.4%低下、III期は同0.6%上昇、IV期は同4.4%低下しました。

◎ 年間の動き

以上のように、生産指数（季節調整済指数）の前期比では、I期を除いて各期とも低下しました。出荷指数（同）は、III期を除いて各期とも低下しました。在庫指数（同）の前期末比では、I期、III期は上昇、II期、IV期は低下しました。

また、生産指数（原指数）の前年同期比ではI期、II期は上昇、III期、IV期は低下し、特にIV期は大きく低下しました。出荷指数（同）ではI期からIII期は上昇しましたが、IV期は大きく低下しました。在庫指数（同）の前年同期末比では各期とも低下しました。

県内の工業生産は2年連続して低下し、一般機械工業や化学工業などが低下に寄与しました。

全国の工業生産はI期を除いて各期とも低下し、特にIV期は大きく低下しました。

（P2図1・表1、P5表3、P6表4 参照）

(指数)

図1 製造工業指数の四半期別推移

(平成17年=100 季節調整済指数)

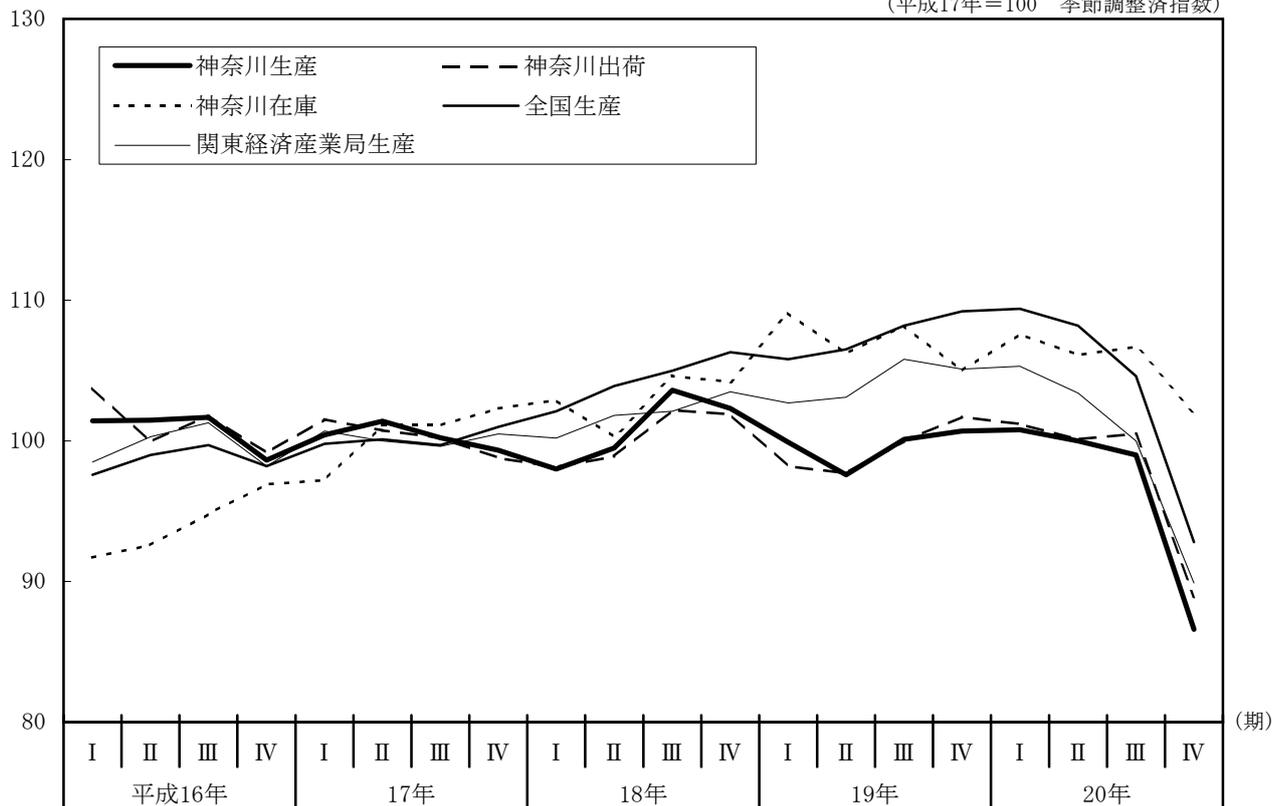


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(平成17年=100)

		平成16年	17年	18年	19年	20年	20年			
							I	II	III	IV
神奈川県 生産	指数	100.9	100.0	101.1	99.4	96.6	100.8	100.0	99.0	86.6
	対前年(期)増減率%	0.5	△0.9	1.1	△1.7	△2.8	0.1	△0.8	△1.0	△12.5
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	1.8	2.0	△0.1	△14.6
出荷	指数	101.3	100.0	100.5	99.2	97.7	101.2	100.1	100.5	88.9
	対前年(期)増減率%	△1.7	△1.3	0.5	△1.3	△1.5	△0.5	△1.1	0.4	△11.5
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	4.2	1.8	1.3	△12.8
在庫	指数	98.4	104.0	106.0	106.7	103.4	107.6	106.1	106.7	102.0
	対前年(期)末増減率%	3.3	5.7	1.9	0.7	△3.1	2.5	△1.4	0.6	△4.4
	対前年同期末増減率%	-	-	-	-	-	△0.5	△0.6	△0.6	△3.1
全国 生産	指数	98.7	100.0	104.5	107.4	103.8	109.4	108.2	104.6	92.8
	対前年(期)増減率%	4.8	1.3	4.5	2.8	△3.4	0.2	△1.1	△3.3	△11.3
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	2.4	0.9	△1.4	△14.6
関東経済産業局管内 生産	指数	99.8	100.0	101.9	104.1	99.7	105.3	103.4	100.0	89.9
	対前年(期)増減率%	4.1	0.2	1.9	2.2	△4.2	0.2	△1.8	△3.3	△10.1
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	1.7	△0.2	△3.6	△14.3

* 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数。ただし、対前年同期(末)増減率は原指数で計算

* 関東経済産業局管内：栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県の地域

(4) 業種別の動向

<生産>

業種別にみると、掘さく機械や真空ポンプなどが減少した一般機械工業（前年比 6.3%低下）や、医薬品などが減少した化学工業（同 6.1%低下）など 12 業種が低下しました。

また、固定通信装置などが増加した情報通信機械工業（前年比 17.8%上昇）など 6 業種が上昇しました。

<出荷>

業種別にみると、医薬品や化粧品などが減少した化学工業（前年比 7.2%低下）や、掘さく機械などが減少した一般機械工業（同 6.1%低下）など 12 業種が低下しました。

また、固定通信装置などが増加した情報通信機械工業（前年比 29.7%上昇）など 6 業種が上昇しました。

<在庫>

業種別にみると、普通トラックや大型バスなどが減少した輸送機械工業（前年末比 25.1%低下）や特殊鋼熱間圧延鋼材などが減少した鉄鋼業（同 20.8%低下）など 10 業種が低下しました。

また、写真フィルムなどが増加した化学工業（前年末比 11.3%上昇）など 7 業種が上昇しました。

(P 3 図 2、P 4 表 2、P 5 表 3 参照)

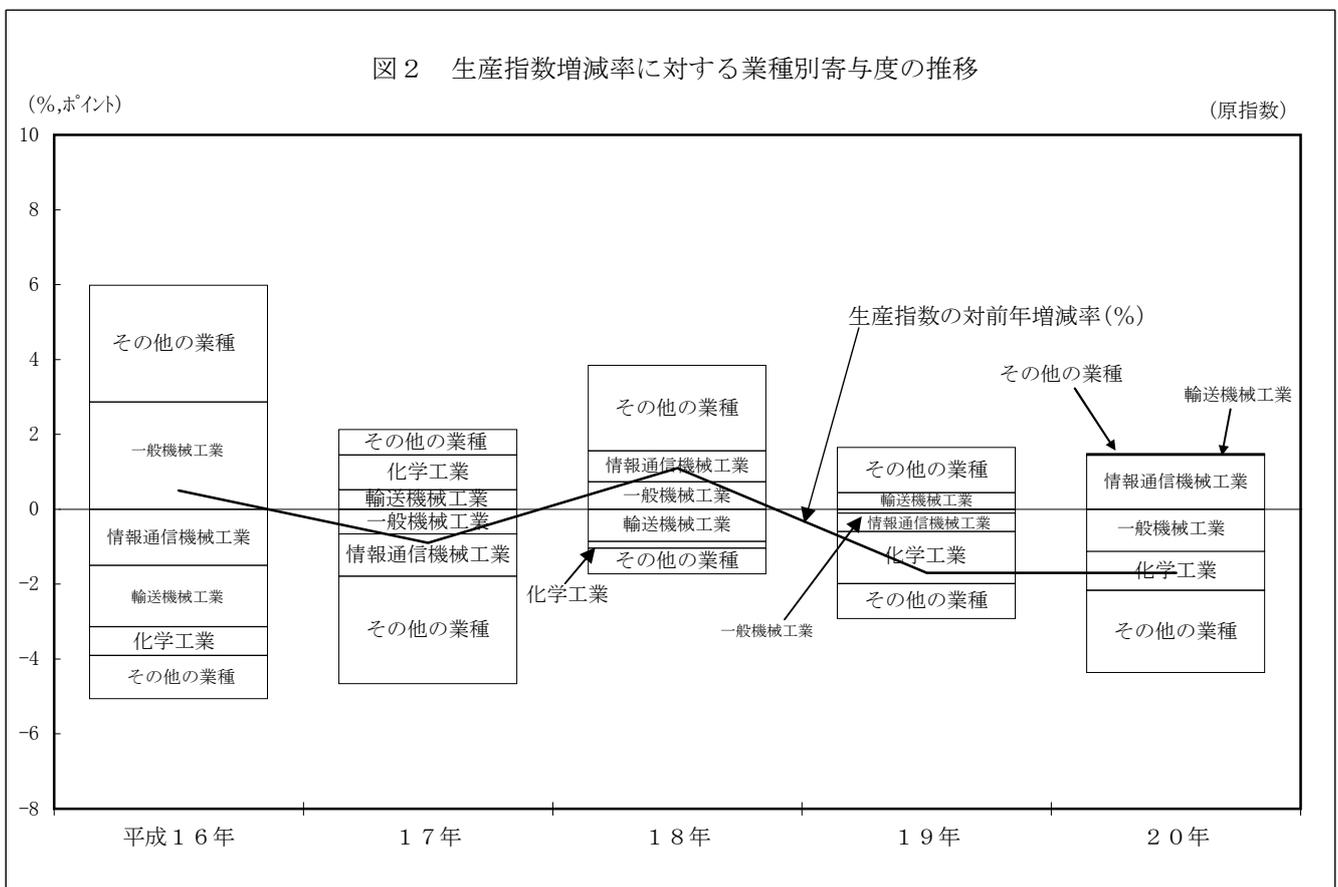


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 96.6 対前年増減率 Δ 2.8% 上昇6業種、低下12業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	情報通信機械工業	17.8	1.44	増	固定通信装置、ネットワーク接続機器、基地局通信装置など
				減	液晶テレビ、ビデオカメラ、陸上移動通信装置など
上昇	輸送機械工業	0.1	0.02	増	鋼船、小型乗用車、フォークリフトトラックなど
				減	乗用車ボデー、普通乗用車、小型トラックなど
低下	一般機械工業	Δ 6.3	Δ 1.13	増	水管ボイラ、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、ろ過・分離機器など
				減	掘さく機械、真空ポンプ、半導体製造装置など
低下	化学工業	Δ 6.1	Δ 1.04	増	合成洗剤、分解ガソリン、界面活性剤など
				減	医薬品、化粧品、印画紙など
低下	電気機械工業	Δ 9.6	Δ 0.57	増	交流電動機、開閉制御装置、高圧遮断器など
				減	その他の電子応用装置、マンガン乾電池、電気測定器など
低下	食料品・飲料工業	Δ 6.8	Δ 0.49	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、ビスケット類、果実酒など
				減	蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、グルタミン酸ソーダ、焼酎など
低下	金属製品工業	Δ 8.1	Δ 0.30	増	橋りょう、18リットル缶
				減	食缶、スチール・ステンレス製建具、ばねなど

(2) 出荷 年指数 97.7 対前年増減率 Δ 1.5% 上昇6業種、低下12業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	情報通信機械工業	29.7	2.04	増	固定通信装置、ネットワーク接続機器、基地局通信装置など
				減	液晶テレビ、陸上移動通信装置、産業用テレビ装置など
上昇	輸送機械工業	1.0	0.25	増	小型乗用車、鋼船、普通トラックなど
				減	普通乗用車、乗用車ボデー、小型トラックなど
低下	化学工業	Δ 7.2	Δ 0.93	増	分解ガソリン、合成洗剤、酸化エチレンなど
				減	医薬品、化粧品、印画紙など
低下	一般機械工業	Δ 6.1	Δ 0.91	増	蒸気タービン部品、ろ過・分離機器、フラットパネル・ディスプレイ製造装置など
				減	掘さく機械、真空ポンプ、超硬工具など
低下	食料品・飲料工業	Δ 7.0	Δ 0.47	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、チョコレート、ビスケット類など
				減	蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、チーズ、グルタミン酸ソーダなど
低下	電気機械工業	Δ 9.0	Δ 0.42	増	交流電動機、アルカリ蓄電池、開閉制御装置など
				減	その他の電子応用装置、マンガン乾電池、電気測定器など
低下	石油・石炭製品工業	Δ 2.8	Δ 0.38	増	軽油、精製及び混合原料油、C重油など
				減	ガソリン、A重油、灯油など

(3) 在庫 年指数 103.4 対前年末増減率 Δ 3.1% 上昇7業種、低下10業種、横ばい1業種

業種		対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上昇	化学工業	11.3	1.71	増	写真フィルム、ポリエチレン、界面活性剤など
				減	印画紙、合成樹脂塗料、合成洗剤など
上昇	石油・石炭製品工業	16.9	1.08	増	軽油、コークス、灯油など
				減	A重油、C重油
横ばい	電子部品・デバイス工業	36.9	1.00	増	線形半導体集積回路、モス型半導体集積回路(論理素子)、光電変換素子など
				減	-
横ばい	一般機械工業	0.0	0.00	増	軸受、超硬工具、建設用クレーンなど
				減	マシニングセンタ、ポンプ、圧縮式冷凍機など
低下	輸送機械工業	Δ 25.1	Δ 2.62	増	フォークリフトトラック、普通乗用車、ショベルトラック
				減	普通トラック、大型バス、小型バスなど
低下	鉄鋼業	Δ 20.8	Δ 2.45	増	普通鋼管材、普通鋼鋼管、鋳鋼・鍛鋼品など
				減	特殊鋼熱間圧延鋼材、めっき鋼材、特殊鋼鋼管など
低下	情報通信機械工業	Δ 28.7	Δ 0.46	増	ビデオカメラ、補聴器、金銭登録機
				減	液晶テレビ、ボタン電話装置、コードレスホンなど

表 3

業種別年指数・対前年増減率

(平成17年=100 原指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		17年	18年	19年	20年	17年	18年	19年	20年	17年	18年	19年	20年	17年	18年	19年	20年
製 造 工 業	指 数	100.0	101.1	99.4	96.6	100.0	100.5	99.2	97.7	104.0	106.0	106.7	103.4	100.0	98.5	103.4	113.9
	対前年増減率%	△ 0.9	1.1	△ 1.7	△ 2.8	△ 1.3	0.5	△ 1.3	△ 1.5	5.7	1.9	0.7	△ 3.1	5.7	△ 1.5	5.0	10.2
鉄 鋼 業	指 数	100.0	102.8	109.3	109.2	100.0	100.6	106.6	107.1	101.3	106.4	124.5	98.6	100.0	101.4	105.4	100.3
	対前年増減率%	△ 0.5	2.8	6.3	△ 0.1	△ 4.0	0.6	6.0	0.5	7.8	5.0	17.0	△ 20.8	7.9	1.4	3.9	△ 4.8
非鉄金属 工 業	指 数	100.0	109.5	112.1	113.7	100.0	112.0	116.8	123.3	101.8	90.7	104.9	94.1	100.0	81.1	90.2	98.9
	対前年増減率%	△ 5.2	9.5	2.4	1.4	△ 5.3	12.0	4.3	5.6	△ 10.5	△ 10.9	15.7	△ 10.3	24.5	△ 18.9	11.2	9.6
金属製品 工 業	指 数	100.0	111.8	109.4	100.5	100.0	120.0	109.2	99.9	90.1	123.7	116.3	99.6	100.0	83.4	106.9	110.0
	対前年増減率%	△ 7.4	11.8	△ 2.1	△ 8.1	△ 14.9	20.0	△ 9.0	△ 8.5	△ 15.6	37.3	△ 6.0	△ 14.4	5.2	△ 16.6	28.2	2.9
一般機械 工 業	指 数	100.0	104.3	103.7	97.2	100.0	104.8	103.5	97.2	103.9	125.3	130.1	130.1	100.0	99.5	122.1	132.3
	対前年増減率%	△ 3.8	4.3	△ 0.6	△ 6.3	△ 1.8	4.8	△ 1.2	△ 6.1	10.3	20.6	3.8	0.0	6.7	△ 0.5	22.7	8.4
電気機械 工 業	指 数	100.0	99.7	96.2	87.0	100.0	99.0	96.5	87.8	103.4	124.5	106.7	97.0	100.0	96.4	94.6	102.5
	対前年増減率%	△ 6.7	△ 0.3	△ 3.5	△ 9.6	△ 2.6	△ 1.0	△ 2.5	△ 9.0	16.3	20.4	△ 14.3	△ 9.1	15.6	△ 3.6	△ 1.9	8.4
情報通信 機械工業	指 数	100.0	110.9	104.3	122.9	100.0	106.4	112.4	145.8	90.1	88.1	51.6	36.8	100.0	104.1	66.4	129.5
	対前年増減率%	△ 12.9	10.9	△ 6.0	17.8	△ 23.1	6.4	5.6	29.7	△ 7.6	△ 2.2	△ 41.4	△ 28.7	△ 6.3	4.1	△ 36.2	95.0
電子部品・ デバイス工業	指 数	100.0	116.3	125.7	118.7	100.0	119.0	121.2	114.3	93.4	146.6	107.4	147.0	100.0	106.6	104.9	101.2
	対前年増減率%	1.6	16.3	8.1	△ 5.6	△ 3.8	19.0	1.8	△ 5.7	△ 0.8	57.0	△ 26.7	36.9	42.9	6.6	△ 1.6	△ 3.5
輸送機械 工 業	指 数	100.0	95.7	97.9	98.0	100.0	98.4	98.0	99.0	141.7	74.4	89.6	67.1	100.0	84.0	76.6	83.3
	対前年増減率%	2.7	△ 4.3	2.3	0.1	1.5	△ 1.6	△ 0.4	1.0	25.3	△ 47.5	20.4	△ 25.1	23.2	△ 16.0	△ 8.8	8.7
精密機械 工 業	指 数	100.0	104.7	100.1	93.1	100.0	112.8	111.3	104.0	97.6	113.4	121.3	110.4	100.0	99.4	111.3	108.2
	対前年増減率%	△ 13.4	4.7	△ 4.4	△ 7.0	4.0	12.8	△ 1.3	△ 6.6	△ 13.2	16.2	7.0	△ 9.0	△ 11.1	△ 0.6	12.0	△ 2.8
窯業・土石 製品工業	指 数	100.0	98.6	97.8	91.5	100.0	98.3	95.5	90.7	96.7	109.0	114.5	133.1	100.0	106.2	121.3	133.0
	対前年増減率%	0.5	△ 1.4	△ 0.8	△ 6.4	△ 2.2	△ 1.7	△ 2.8	△ 5.0	△ 4.9	12.7	5.0	16.2	1.9	6.2	14.2	9.6
化学工業	指 数	100.0	99.0	91.4	85.8	100.0	98.3	92.1	85.5	97.2	98.1	101.4	112.9	100.0	103.5	103.1	120.5
	対前年増減率%	5.4	△ 1.0	△ 7.7	△ 6.1	5.8	△ 1.7	△ 6.3	△ 7.2	7.5	0.9	3.4	11.3	1.4	3.5	△ 0.4	16.9
石油・石炭 製品工業	指 数	100.0	94.9	92.6	87.8	100.0	93.8	91.4	88.8	99.1	94.5	91.0	106.4	100.0	105.4	106.0	125.1
	対前年増減率%	3.7	△ 5.1	△ 2.4	△ 5.2	3.7	△ 6.2	△ 2.6	△ 2.8	△ 7.0	△ 4.6	△ 3.7	16.9	△ 10.8	5.4	0.6	18.0
プラスチック 製品工業	指 数	100.0	94.1	85.6	79.7	100.0	94.6	87.6	80.2	92.2	89.0	80.7	75.8	100.0	94.2	94.9	98.8
	対前年増減率%	△ 6.4	△ 5.9	△ 9.0	△ 6.9	△ 7.3	△ 5.4	△ 7.4	△ 8.4	△ 7.7	△ 3.5	△ 9.3	△ 6.1	△ 1.0	△ 5.8	0.7	4.1
紙・紙加工品 工 業	指 数	100.0	102.2	101.7	102.6	100.0	102.7	98.2	100.0	91.4	78.9	52.1	67.8	100.0	87.4	82.3	64.5
	対前年増減率%	0.3	2.2	△ 0.5	0.9	△ 2.2	2.7	△ 4.4	1.8	1.7	△ 13.7	△ 34.0	30.1	23.0	△ 12.6	△ 5.8	△ 21.6
繊維工業	指 数	100.0	94.5	99.5	108.4	100.0	94.2	97.4	99.9	123.4	114.4	96.4	110.1	100.0	96.1	88.3	86.2
	対前年増減率%	0.2	△ 5.5	5.3	8.9	△ 1.3	△ 5.8	3.4	2.6	△ 7.2	△ 7.3	△ 15.7	14.2	△ 14.5	△ 3.9	△ 8.1	△ 2.4
食料品・ 飲料工業	指 数	100.0	100.3	98.9	92.2	100.0	99.4	98.7	91.8	87.2	101.4	92.5	98.8	100.0	101.8	109.8	109.6
	対前年増減率%	3.8	0.3	△ 1.4	△ 6.8	3.2	△ 0.6	△ 0.7	△ 7.0	△ 7.9	16.3	△ 8.8	6.8	△ 0.7	1.8	7.9	△ 0.2
その他工業	指 数	100.0	96.2	102.4	97.8	100.0	94.9	100.3	94.2	101.0	117.8	122.3	108.0	100.0	116.9	136.8	161.4
	対前年増減率%	1.9	△ 3.8	6.4	△ 4.5	△ 1.7	△ 5.1	5.7	△ 6.1	△ 5.6	16.6	3.8	△ 11.7	△ 7.8	16.9	17.0	18.0
ゴム製品 工 業	指 数	100.0	98.0	107.3	107.6	100.0	96.5	104.7	103.4	95.8	108.7	118.6	110.5	100.0	106.5	116.8	122.6
	対前年増減率%	4.1	△ 2.0	9.5	0.3	△ 0.1	△ 3.5	8.5	△ 1.2	△ 7.1	13.5	9.1	△ 6.8	5.3	6.5	9.7	5.0
家具工業	指 数	100.0	91.6	89.5	71.9	100.0	90.9	89.5	71.8	112.9	138.8	130.7	102.3	100.0	140.8	182.9	250.9
	対前年増減率%	△ 3.2	△ 8.4	△ 2.3	△ 19.7	△ 5.3	△ 9.1	△ 1.5	△ 19.8	△ 2.6	22.9	△ 5.8	△ 21.7	△ 28.5	40.8	29.9	37.2
公 益 事 業	指 数	100.0	97.2	105.8	116.5	100.0	103.0	104.5	105.7	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	2.4	△ 2.8	8.8	10.1	2.5	3.0	1.5	1.1	-	-	-	-	-	-	-	-
機 械 工 業	指 数	100.0	102.2	101.9	101.0	100.0	102.4	102.4	103.7	112.1	110.1	108.5	101.9	100.0	95.6	100.2	111.8
	対前年増減率%	△ 3.2	2.2	△ 0.3	△ 0.9	△ 3.5	2.4	0.0	1.3	13.3	△ 1.8	△ 1.5	△ 6.1	12.4	△ 4.4	4.8	11.6

*生産・出荷・在庫率は年平均(年平均比)、在庫は年末(年末比)

*公益事業、機械工業は参考系列(P85 業種分類参照)

表 4

平成20年業種別四半期指数・対前期増減率

(平成17年=100 季節調整済指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
製 造 工 業	指 数	100.8	100.0	99.0	86.6	101.2	100.1	100.5	88.9	107.6	106.1	106.7	102.0	102.4	107.8	115.9	129.9
	対前期増減率%	0.1	△ 0.8	△ 1.0	△ 12.5	△ 0.5	△ 1.1	0.4	△ 11.5	2.5	△ 1.4	0.6	△ 4.4	0.6	5.3	7.5	12.1
鉄 鋼 業	指 数	114.2	115.5	108.0	98.3	114.1	113.3	105.3	95.3	113.0	101.8	97.9	99.9	103.1	93.4	99.2	104.8
	対前期増減率%	1.2	1.1	△ 6.5	△ 9.0	6.5	△ 0.7	△ 7.1	△ 9.5	△ 10.8	△ 9.9	△ 3.8	2.0	△ 6.5	△ 9.4	6.2	5.6
非鉄金属 工 業	指 数	120.4	115.7	118.2	99.0	129.2	125.4	125.9	110.7	102.3	101.4	81.9	89.1	94.9	101.4	88.1	110.8
	対前期増減率%	0.3	△ 3.9	2.2	△ 16.2	5.2	△ 2.9	0.4	△ 12.1	3.5	△ 0.9	△ 19.2	8.8	2.7	6.8	△ 13.1	25.8
金属製品 工 業	指 数	106.3	102.0	106.8	86.8	105.4	101.0	104.4	89.7	115.5	101.8	104.0	99.4	113.0	110.1	104.2	113.0
	対前期増減率%	△ 7.3	△ 4.0	4.7	△ 18.7	△ 8.3	△ 4.2	3.4	△ 14.1	△ 2.5	△ 11.9	2.2	△ 4.4	7.3	△ 2.6	△ 5.4	8.4
一般機械 工 業	指 数	105.8	98.0	93.9	90.5	107.2	100.3	93.7	86.5	118.2	112.4	109.4	123.9	114.2	113.5	124.7	171.9
	対前期増減率%	△ 4.9	△ 7.4	△ 4.2	△ 3.6	△ 4.8	△ 6.4	△ 6.6	△ 7.7	△ 6.1	△ 4.9	△ 2.7	13.3	△ 9.1	△ 0.6	9.9	37.9
電気機械 工 業	指 数	92.5	87.2	88.4	78.6	93.1	88.7	88.5	79.3	100.1	101.9	100.1	91.0	97.0	100.3	107.5	105.3
	対前期増減率%	4.8	△ 5.7	1.4	△ 11.1	3.3	△ 4.7	△ 0.2	△ 10.4	△ 0.6	1.8	△ 1.8	△ 9.1	1.1	3.4	7.2	△ 2.0
情報通信 機 械 工 業	指 数	116.6	129.7	143.6	107.8	129.9	150.2	177.0	134.8	83.3	95.0	75.7	46.2	68.2	175.0	114.7	139.8
	対前期増減率%	8.1	11.2	10.7	△ 24.9	9.0	15.6	17.8	△ 23.8	43.4	14.0	△ 20.3	△ 39.0	55.4	156.6	△ 34.5	21.9
電子部品・ デバイス工 業	指 数	120.5	132.3	119.3	101.3	120.2	121.4	114.5	100.5	107.1	109.9	137.9	141.3	74.3	82.4	108.5	140.3
	対前期増減率%	△ 6.2	9.8	△ 9.8	△ 15.1	△ 2.0	1.0	△ 5.7	△ 12.2	4.2	2.6	25.5	2.5	△ 5.7	10.9	31.7	29.3
輸送機械 工 業	指 数	103.4	106.8	102.0	80.1	102.4	105.8	102.1	85.7	89.3	105.4	112.4	65.2	73.1	78.2	93.8	92.7
	対前期増減率%	△ 0.2	3.3	△ 4.5	△ 21.5	△ 4.5	3.3	△ 3.5	△ 16.1	15.1	18.0	6.6	△ 42.0	6.4	7.0	19.9	△ 1.2
精密機械 工 業	指 数	100.7	98.4	91.0	82.9	116.9	110.6	106.5	82.7	110.9	109.9	108.9	106.0	97.4	105.8	103.6	127.4
	対前期増減率%	5.2	△ 2.3	△ 7.5	△ 8.9	9.0	△ 5.4	△ 3.7	△ 22.3	△ 5.7	△ 0.9	△ 0.9	△ 2.7	△ 13.9	8.6	△ 2.1	23.0
窯業・土石 製 品 工 業	指 数	92.4	91.1	93.8	87.9	92.6	90.1	93.3	86.4	118.1	128.4	129.5	135.2	119.4	130.0	132.0	151.2
	対前期増減率%	△ 4.5	△ 1.4	3.0	△ 6.3	△ 1.6	△ 2.7	3.6	△ 7.4	1.5	8.7	0.9	4.4	△ 8.0	8.9	1.5	14.5
化学工業	指 数	86.9	88.5	84.8	82.3	88.0	88.5	84.3	80.6	103.7	108.8	111.5	115.9	105.7	115.1	126.1	136.4
	対前期増減率%	0.0	1.8	△ 4.2	△ 2.9	△ 0.2	0.6	△ 4.7	△ 4.4	△ 2.1	4.9	2.5	3.9	0.3	8.9	9.6	8.2
石油・石炭 製 品 工 業	指 数	91.9	83.1	86.6	88.7	90.3	86.0	89.3	89.3	126.3	95.5	109.3	108.7	116.9	117.1	132.9	134.1
	対前期増減率%	3.5	△ 9.6	4.2	2.4	2.7	△ 4.8	3.8	0.0	41.3	△ 24.4	14.5	△ 0.5	13.8	0.2	13.5	0.9
プラスチック 製 品 工 業	指 数	83.6	83.3	81.3	70.7	85.4	84.1	80.7	70.8	83.1	81.2	82.9	75.5	93.5	94.2	103.7	104.7
	対前期増減率%	△ 0.7	△ 0.4	△ 2.4	△ 13.0	△ 1.7	△ 1.5	△ 4.0	△ 12.3	3.9	△ 2.3	2.1	△ 8.9	△ 1.1	0.7	10.1	1.0
紙・紙加工品 工 業	指 数	105.2	103.3	101.8	99.9	105.2	101.5	96.8	96.7	75.5	68.6	77.7	81.7	56.1	57.1	73.2	75.9
	対前期増減率%	2.1	△ 1.8	△ 1.5	△ 1.9	3.6	△ 3.5	△ 4.6	△ 0.1	24.4	△ 9.1	13.3	5.1	△ 8.2	1.8	28.2	3.7
繊維工業	指 数	106.9	108.2	102.2	114.7	96.7	100.2	93.9	106.5	80.7	88.7	90.5	86.5	77.7	87.8	92.4	81.2
	対前期増減率%	8.1	1.2	△ 5.5	12.2	△ 3.6	3.6	△ 6.3	13.4	11.2	9.9	2.0	△ 4.4	6.6	13.0	5.2	△ 12.1
食料品・ 飲料工業	指 数	98.7	94.5	88.7	87.6	99.1	92.7	88.8	87.5	99.7	102.7	103.0	107.4	100.3	112.1	112.4	115.9
	対前期増減率%	△ 2.2	△ 4.3	△ 6.1	△ 1.2	△ 0.9	△ 6.5	△ 4.2	△ 1.5	△ 3.2	3.0	0.3	4.3	△ 4.1	11.8	0.3	3.1
その他工業	指 数	97.9	104.4	100.3	87.7	95.6	98.2	96.7	86.1	116.9	127.5	120.5	107.1	148.1	157.7	169.0	168.8
	対前期増減率%	△ 2.7	6.6	△ 3.9	△ 12.6	△ 2.8	2.7	△ 1.5	△ 11.0	△ 2.7	9.1	△ 5.5	△ 11.1	4.1	6.5	7.2	△ 0.1
ゴム製品 工 業	指 数	107.3	113.5	110.0	98.8	103.6	106.3	105.9	97.4	118.8	130.6	123.6	113.0	115.6	123.1	128.9	122.9
	対前期増減率%	△ 1.5	5.8	△ 3.1	△ 10.2	△ 2.8	2.6	△ 0.4	△ 8.0	△ 1.0	9.9	△ 5.4	△ 8.6	△ 0.9	6.5	4.7	△ 4.7
家具工業	指 数	76.0	78.3	73.8	57.4	77.4	76.1	73.3	58.7	109.6	118.4	113.5	95.2	217.0	240.1	269.9	265.0
	対前期増減率%	△ 4.9	3.0	△ 5.7	△ 22.2	△ 1.1	△ 1.7	△ 3.7	△ 19.9	△ 10.1	8.0	△ 4.1	△ 16.1	11.1	10.6	12.4	△ 1.8
公 益 事 業	指 数	118.7	117.7	116.4	113.2	107.2	105.9	105.9	102.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	7.4	△ 0.8	△ 1.1	△ 2.7	0.1	△ 1.2	0.0	△ 2.9	-	-	-	-	-	-	-	-
機 械 工 業	指 数	106.1	105.7	105.6	87.0	107.0	107.7	108.7	90.9	106.0	107.5	110.1	97.9	95.4	104.5	113.0	134.1
	対前期増減率%	1.0	△ 0.4	△ 0.1	△ 17.6	△ 1.7	0.7	0.9	△ 16.4	3.5	1.4	2.4	△ 11.1	△ 0.6	9.5	8.1	18.7

*生産・出荷・在庫率は3か月平均（3か月平均比）、在庫は期末（期末比）

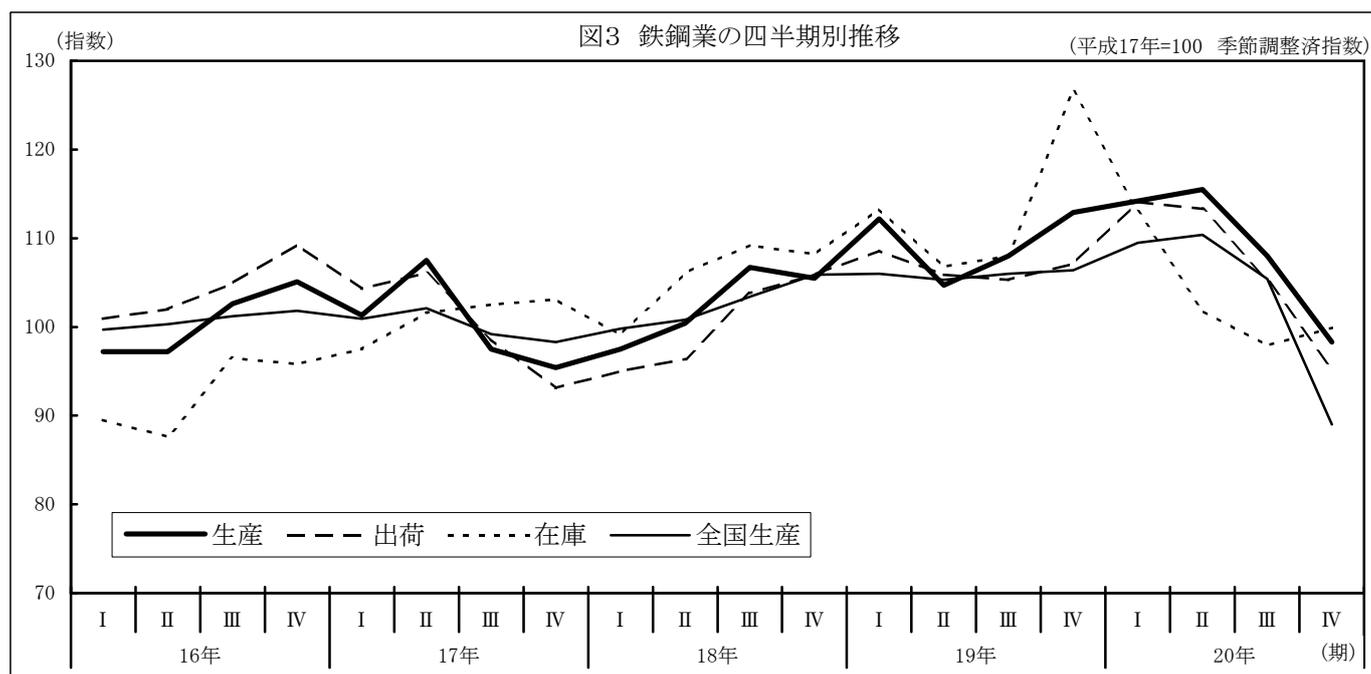
*公益事業、機械工業は参考系列（P85 業種分類参照）

2 各業種の動向

(1) 主要業種の動向

<鉄鋼業>

－生産は3年ぶりの低下、出荷は3年連続の上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、109.2で前年比0.1%低下し、3年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比1.2%上昇、II期も同1.1%上昇、III期は同6.5%低下、IV期も同9.0%低下しました。

品目別にみると、鋼半製品や普通鋼鋼管などが減少し、普通鋼冷間仕上鋼材などが増加しました。

また、全国の鉄鋼業の生産指数(原指数)は、103.7で前年比2.1%低下し、3年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、107.1で前年比0.5%上昇し、3年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比6.5%上昇、II期は同0.7%低下、III期も同7.1%低下、IV期も同9.5%低下しました。

品目別にみると、普通鋼冷間仕上鋼材や普通鋼鋼管などが増加し、めっき鋼材などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、98.6で前年末比20.8%低下し、6年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比10.8%低下、II期も同9.9%低下、III期も同3.8%低下、IV期は同2.0%上昇しました。

品目別にみると、特殊鋼熱間圧延鋼材やめっき鋼材などが減少し、普通鋼鋼管などが増加しました。

表5 鉄鋼業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

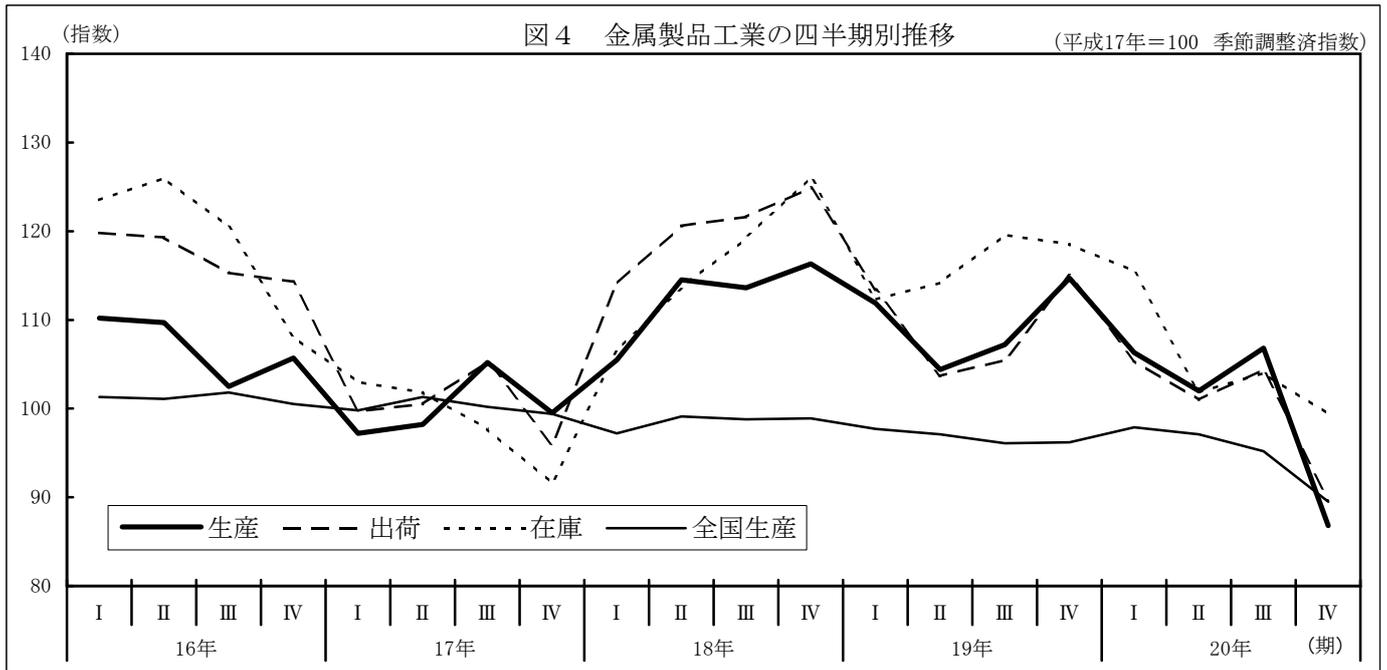
		19年		20年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV	増	減
生産	指数	109.3	△ 0.1	114.2	115.5	108.0	98.3	普通鋼冷間仕上鋼材、普通鋼鋼帯など	鋼半製品、普通鋼鋼管、めっき鋼材など
	対前年(期)増減率%	6.3	△ 0.1	1.2	1.1	△ 6.5	△ 9.0		
出荷	指数	106.6	0.5	114.1	113.3	105.3	95.3	普通鋼冷間仕上鋼材、普通鋼鋼管、鋼半製品など	めっき鋼材、普通鋼鋼管など
	対前年(期)増減率%	6.0	0.5	6.5	△ 0.7	△ 7.1	△ 9.5		
在庫	指数	124.5	△ 20.8	113.0	101.8	97.9	99.9	普通鋼鋼管、普通鋼鋼管など	特殊鋼熱間圧延鋼材、めっき鋼材、特殊鋼鋼管など
	対前年(期)末増減率%	17.0	△ 20.8	△ 10.8	△ 9.9	△ 3.8	2.0		

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<金属製品工業>

－生産、出荷とも2年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、100.5で前年比8.1%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比7.3%低下、II期も同4.0%低下、III期は同4.7%上昇、IV期は同18.7%低下しました。

品目別にみると、食缶やスチール・ステンレス製建具などが減少し、橋りょうなどが増加しました。

また、全国の金属製品工業の生産指数(原指数)は、94.8で前年比2.1%低下し、6年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、99.9で前年比8.5%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比8.3%低下、II期も同4.2%低下、III期は同3.4%上昇、IV期は同14.1%低下しました。

品目別にみると、食缶やガス機器などが減少し、橋りょうなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、99.6で前年末比14.4%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比2.5%低下、II期も同11.9%低下、III期は同2.2%上昇、IV期は同4.4%低下しました。

品目別にみると、食缶やばねなどが減少し、飲料用アルミ缶などが増加しました。

表6 金属製品工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		19年	20年	I	II	III	IV
		指数	指数	指数	指数	指数	指数
生産	指数	109.4	100.5	106.3	102.0	106.8	86.8
	対前年(期)増減率%	△ 2.1	△ 8.1	△ 7.3	△ 4.0	4.7	△ 18.7
出荷	指数	109.2	99.9	105.4	101.0	104.4	89.7
	対前年(期)増減率%	△ 9.0	△ 8.5	△ 8.3	△ 4.2	3.4	△ 14.1
在庫	指数	116.3	99.6	115.5	101.8	104.0	99.4
	対前年(期)末増減率%	△ 6.0	△ 14.4	△ 2.5	△ 11.9	2.2	△ 4.4

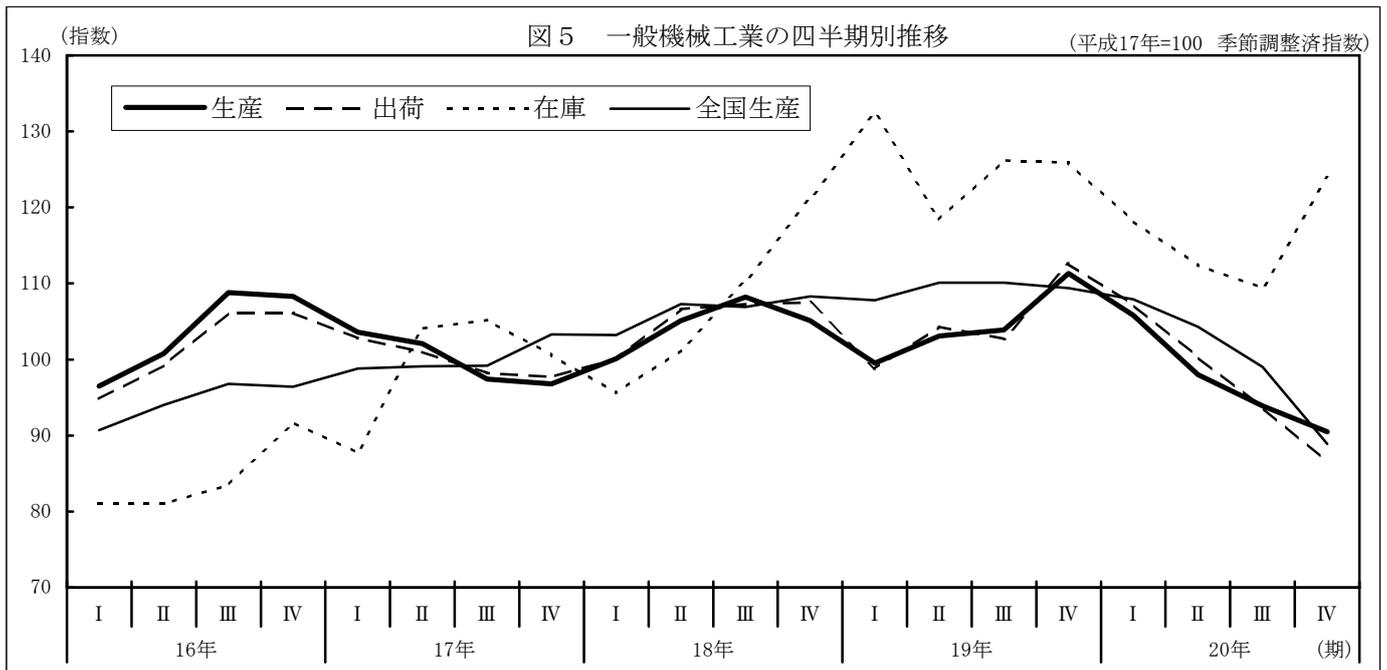
上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	橋りょう、18リットル缶
	減	食缶、スチール・ステンレス製建具、ばねなど
出荷	増	橋りょう、18リットル缶
	減	食缶、ガス機器、飲料用アルミ缶など
在庫	増	飲料用アルミ缶、超硬チップなど
	減	食缶、ばね、ガス機器など

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

* 品目順は寄与度順に列記

<一般機械工業>

—生産、出荷とも2年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、97.2で前年比6.3%低下し、2年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比4.9%低下、II期も同7.4%低下、III期も同4.2%低下、IV期も同3.6%低下しました。
 品目別にみると、掘さく機械や真空ポンプなどが減少し、水管ボイラなどが増加しました。
 また、全国の一般機械工業の生産指数(原指数)は、100.4で前年比8.1%低下し、6年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、97.2で前年比6.1%低下し、2年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比4.8%低下、II期も同6.4%低下、III期も同6.6%低下、IV期も同7.7%低下しました。
 品目別にみると、掘さく機械や真空ポンプなどが減少し、蒸気タービン部品などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、130.1で前年末比0.0%で、横ばいとなりました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比6.1%低下、II期も同4.9%低下、III期も同2.7%低下、IV期は同13.3%上昇しました。
 品目別にみると、軸受や超硬工具などが増加し、マシニングセンタやポンプなどが減少しました。

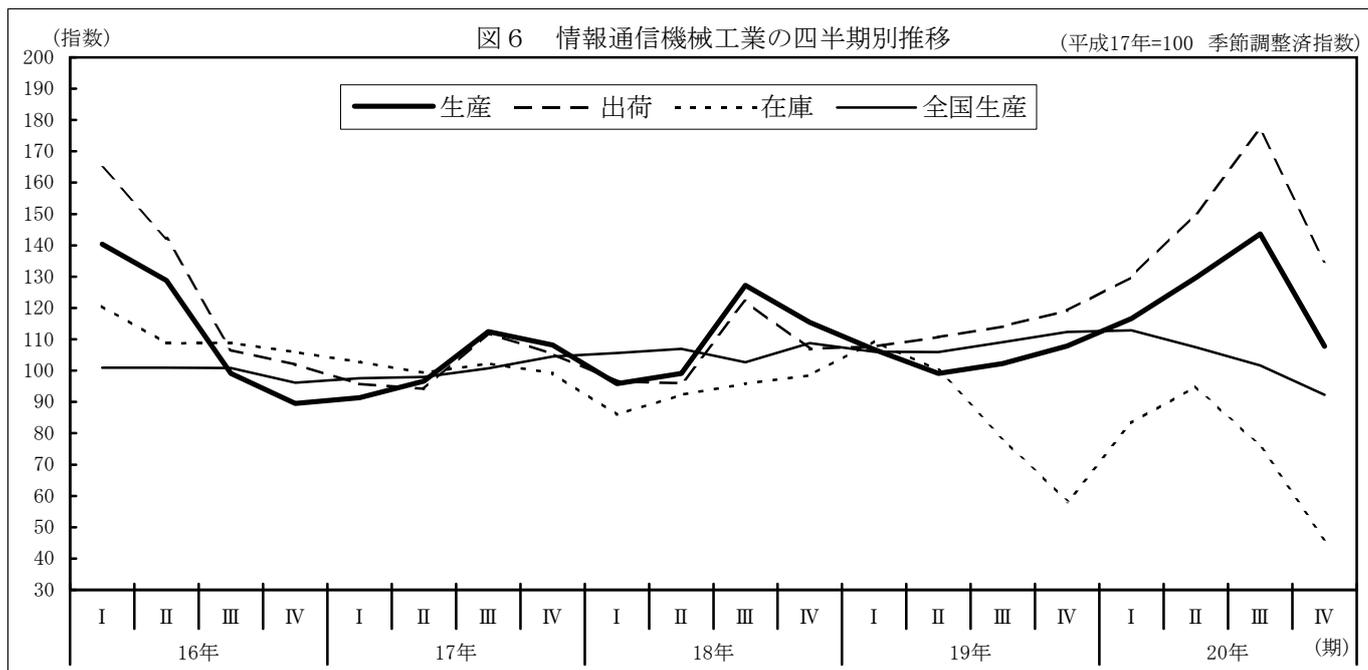
表7 一般機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		19年		20年				上昇又は低下に寄与した品目
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV	
生産	指数	103.7	△ 0.6	105.8	98.0	93.9	90.5	増 水管ボイラ、フラットパネルディスプレイ製造装置など 減 掘さく機械、真空ポンプ、半導体製造装置など
	対前年(期)増減率%	△ 0.6	△ 6.3	△ 4.9	△ 7.4	△ 4.2	△ 3.6	
出荷	指数	103.5	△ 1.2	107.2	100.3	93.7	86.5	増 蒸気タービン部品、ろ過・分離機器など 減 掘さく機械、真空ポンプ、超硬工具など
	対前年(期)増減率%	△ 1.2	△ 6.1	△ 4.8	△ 6.4	△ 6.6	△ 7.7	
在庫	指数	130.1	3.8	130.1	118.2	109.4	123.9	増 軸受、超硬工具など 減 マシニングセンタ、ポンプなど
	対前年(期)末増減率%	3.8	0.0	△ 6.1	△ 4.9	△ 2.7	13.3	

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<情報通信機械工業> ー生産は2年ぶりの上昇、出荷は3年連続の上昇ー



<生産>

生産指数(原指数)は、122.9で前年比17.8%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比8.1%上昇、II期も同11.2%上昇、III期も同10.7%上昇、IV期は同24.9%低下しました。

品目別にみると、固定通信装置やネットワーク接続機器などが増加し、液晶テレビなどが減少しました。

また、全国の情報通信機械工業の生産指数(原指数)は、103.2で前年比4.8%低下し、4年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、145.8で前年比29.7%上昇し、3年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比9.0%上昇、II期も同15.6%上昇、III期も同17.8%上昇、IV期は同23.8%低下しました。

品目別にみると、固定通信装置やネットワーク接続機器などが増加し、液晶テレビなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、36.8で前年末比28.7%低下し、5年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比43.4%上昇、II期も同14.0%上昇、III期は同20.3%低下、IV期も同39.0%低下しました。

品目別にみると、液晶テレビやボタン電話装置などが減少し、ビデオカメラなどが増加しました。

表8 情報通信機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		19年	20年	20年			
				I	II	III	IV
生産	指数	104.3	122.9	116.6	129.7	143.6	107.8
	対前年(期)増減率%	△6.0	17.8	8.1	11.2	10.7	△24.9
出荷	指数	112.4	145.8	129.9	150.2	177.0	134.8
	対前年(期)増減率%	5.6	29.7	9.0	15.6	17.8	△23.8
在庫	指数	51.6	36.8	83.3	95.0	75.7	46.2
	対前年(期)末増減率%	△41.4	△28.7	43.4	14.0	△20.3	△39.0

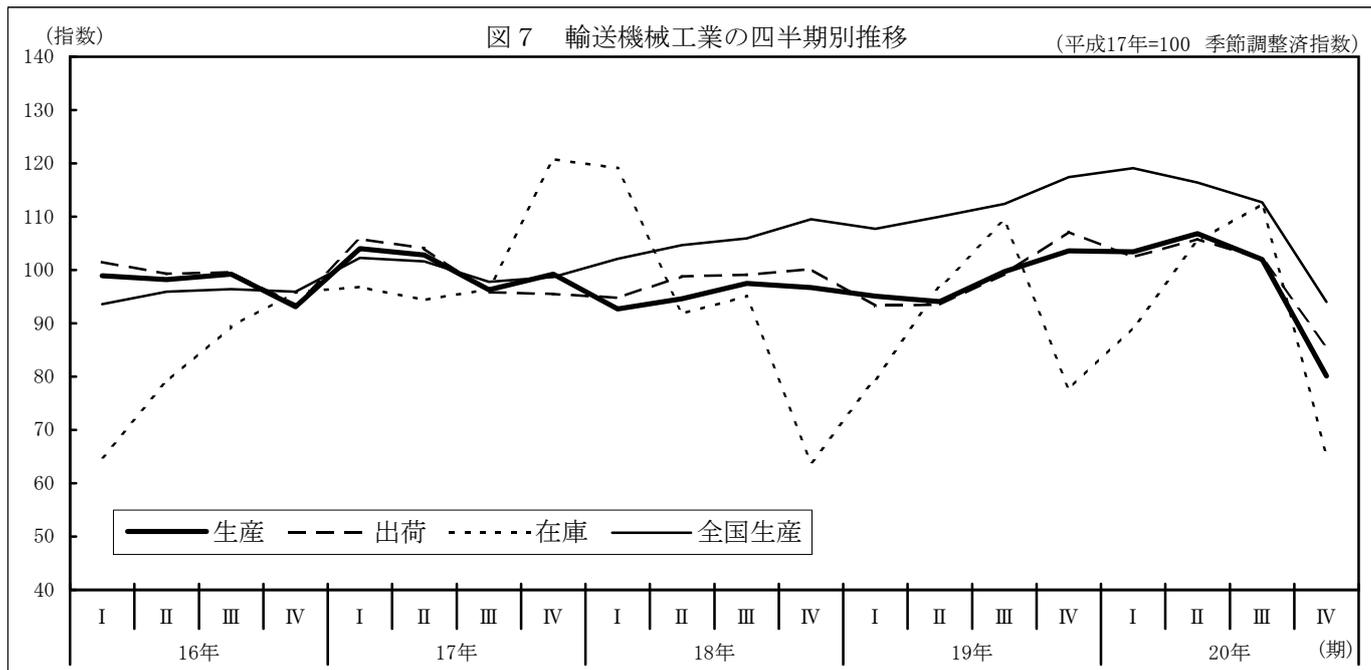
上昇又は低下に寄与した品目	
生産	増 固定通信装置、ネットワーク接続機器、基地局通信装置など
生産	減 液晶テレビ、ビデオカメラなど
出荷	増 固定通信装置、ネットワーク接続機器、基地局通信装置など
出荷	減 液晶テレビ、陸上移動通信装置など
在庫	増 ビデオカメラ、補聴器など
在庫	減 液晶テレビ、ボタン電話装置、コードレスホンなど

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<輸送機械工業>

—生産は2年連続の上昇、出荷は3年ぶりの上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、98.0で前年比0.1%上昇し、2年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.2%低下、II期は同3.3%上昇、III期は同4.5%低下、IV期も同21.5%低下しました。

品目別にみると、鋼船や小型乗用車などが増加し、乗用車ボデーなどが減少しました。

また、全国の輸送機械工業の生産指数(原指数)は、110.5で前年比1.3%低下し、7年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、99.0で前年比1.0%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比4.5%低下、II期は同3.3%上昇、III期は同3.5%低下、IV期も同16.1%低下しました。

品目別にみると、小型乗用車や鋼船などが増加し、普通乗用車などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、67.1で前年末比25.1%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比15.1%上昇、II期も同18.0%上昇、III期も同6.6%上昇、IV期は同42.0%低下しました。

品目別にみると、普通トラックや大型バスなどが減少し、フォークリフトトラックなどが増加しました。

表9 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		19年		20年			
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV
生産	指数	97.9	2.3	103.4	106.8	102.0	80.1
	対前年(期)増減率%			△ 0.2	3.3	△ 4.5	△ 21.5
出荷	指数	98.0	△ 0.4	102.4	105.8	102.1	85.7
	対前年(期)増減率%			△ 4.5	3.3	△ 3.5	△ 16.1
在庫	指数	89.6	20.4	89.3	105.4	112.4	65.2
	対前年(期)末増減率%			△ 25.1	15.1	18.0	△ 42.0

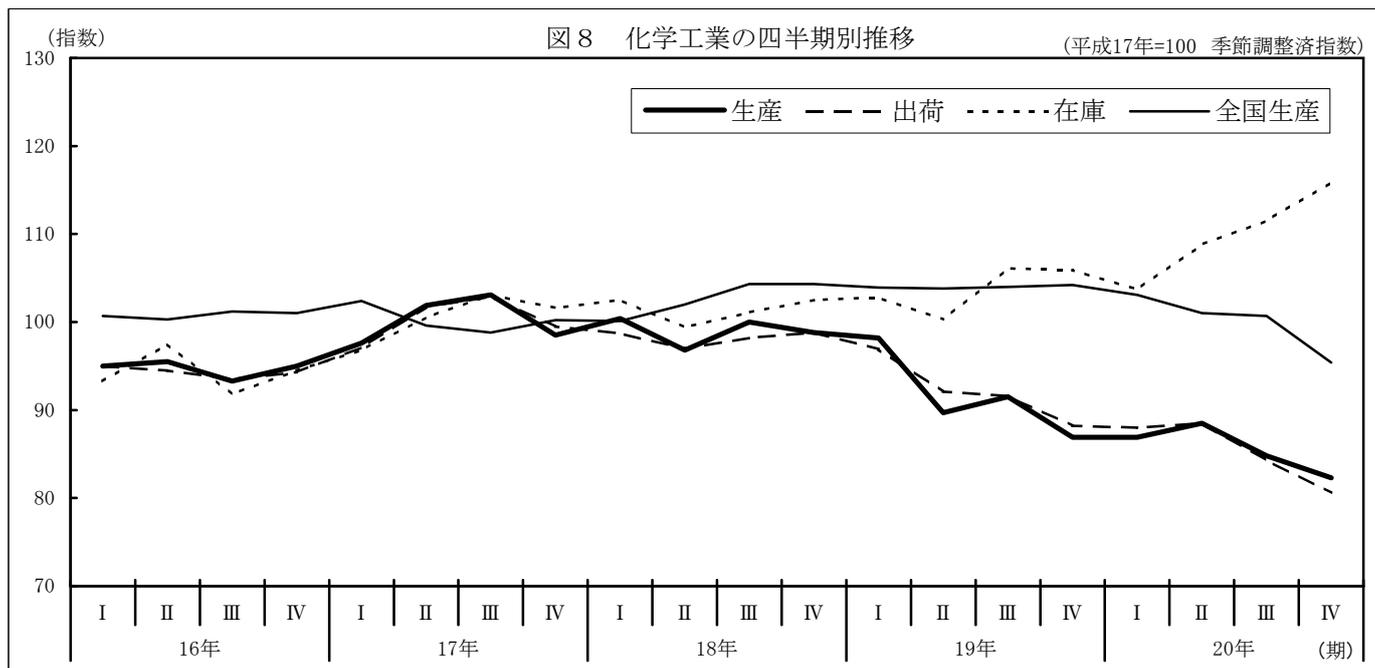
		上昇又は低下に寄与した品目	
生産	増	鋼船、小型乗用車、フォークリフトトラックなど	
	減	乗用車ボデー、普通乗用車など	
出荷	増	小型乗用車、鋼船、普通トラックなど	
	減	普通乗用車、乗用車ボデーなど	
在庫	増	フォークリフトトラック、普通乗用車など	
	減	普通トラック、大型バス、小型バスなど	

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<化学工業>

—生産、出荷とも3年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、85.8で前年比6.1%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.0%で横ばい、II期は同1.8%上昇、III期は同4.2%低下、IV期も同2.9%低下しました。

品目別にみると、医薬品や化粧品などが減少し、合成洗剤などが増加しました。

また、全国の化学工業の生産指数(原指数)は、100.1で前年比3.7%低下し、3年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、85.5で前年比7.2%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.2%低下、II期は同0.6%上昇、III期は同4.7%低下、IV期も同4.4%低下しました。

品目別にみると、医薬品や化粧品などが減少し、分解ガソリンなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、112.9で前年末比11.3%上昇し、4年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比2.1%低下、II期は同4.9%上昇、III期も同2.5%上昇、IV期も同3.9%上昇しました。

品目別にみると、写真フィルムやポリエチレンなどが増加し、印画紙などが減少しました。

表10 化学工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

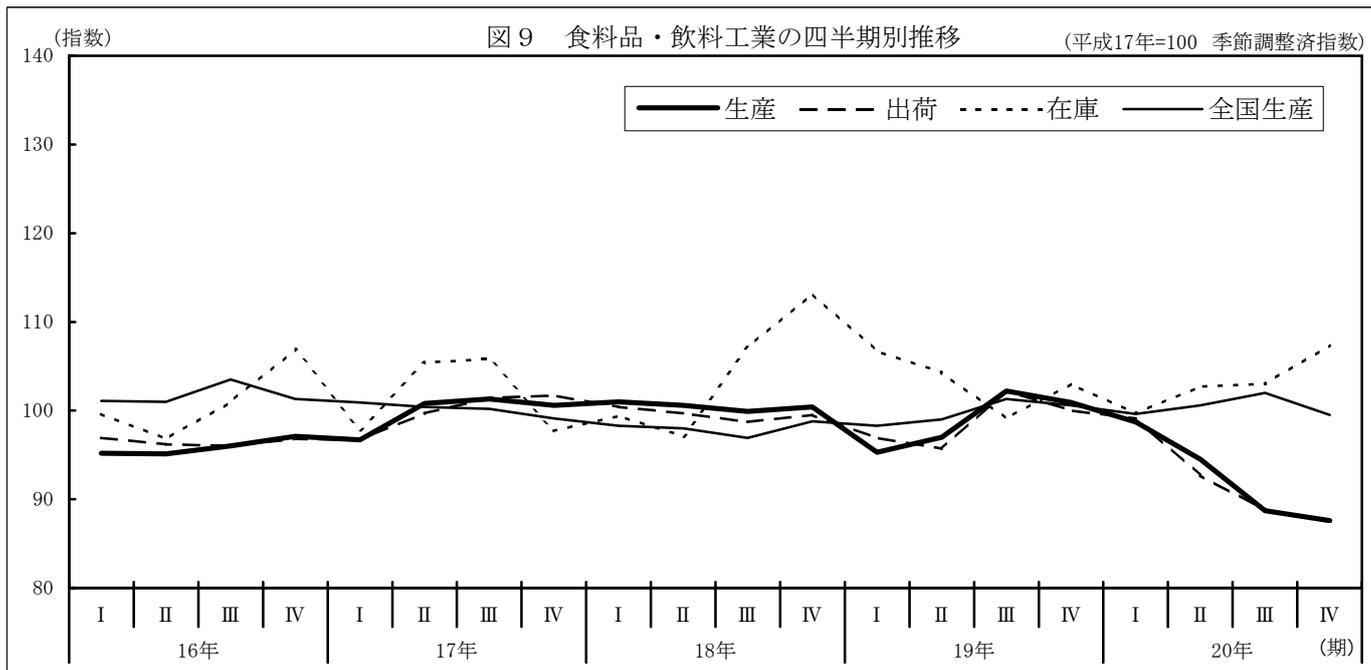
		19年		20年				上昇又は低下に寄与した品目
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV	
生産	指数	91.4	85.8	86.9	88.5	84.8	82.3	増 合成洗剤、分解ガソリンなど 減 医薬品、化粧品、印画紙など
	対前年(期)増減率%	△ 7.7	△ 6.1	0.0	1.8	△ 4.2	△ 2.9	
出荷	指数	92.1	85.5	88.0	88.5	84.3	80.6	増 分解ガソリン、合成洗剤など 減 医薬品、化粧品、印画紙など
	対前年(期)増減率%	△ 6.3	△ 7.2	△ 0.2	0.6	△ 4.7	△ 4.4	
在庫	指数	101.4	112.9	103.7	108.8	111.5	115.9	増 写真フィルム、ポリエチレン、界面活性剤など 減 印画紙、合成樹脂塗料など
	対前年(期)末増減率%	3.4	11.3	△ 2.1	4.9	2.5	3.9	

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

* 品目順は寄与度順に列記

<食料品・飲料工業>

—生産は2年連続の低下、出荷は3年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、92.2で前年比6.8%低下し、2年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比2.2%低下、II期も同4.3%低下、III期も同6.1%低下、IV期も同1.2%低下しました。

品目別にみると、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)やグルタミン酸ソーダなどが減少し、清涼飲料(炭酸飲料除く)などが増加しました。

また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(原指数)は、100.5で前年比0.7%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、91.8で前年比7.0%低下し、3年連続して低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期比0.9%低下、II期も同6.5%低下、III期も同4.2%低下、IV期も同1.5%低下しました。

品目別にみると、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)やチーズなどが減少し、清涼飲料(炭酸飲料除く)などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、98.8で前年末比6.8%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、I期は前期末比3.2%低下、II期は同3.0%上昇、III期も同0.3%上昇、IV期も同4.3%上昇しました。

品目別にみると、果実酒や清涼飲料(炭酸飲料除く)などが増加し、蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)などが減少しました。

表 1 1 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		19年		20年				上昇又は低下に寄与した品目
		指数	対前年(期)増減率%	I	II	III	IV	
生産	指数	98.9	92.2	98.7	94.5	88.7	87.6	増 清涼飲料(炭酸飲料除く)、ビスケット類など 減 蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、グルタミン酸ソーダ、焼酎など
	対前年(期)増減率%	△ 1.4	△ 6.8	△ 2.2	△ 4.3	△ 6.1	△ 1.2	
出荷	指数	98.7	91.8	99.1	92.7	88.8	87.5	増 清涼飲料(炭酸飲料除く)、チョコレートなど 減 蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、チーズ、グルタミン酸ソーダなど
	対前年(期)増減率%	△ 0.7	△ 7.0	△ 0.9	△ 6.5	△ 4.2	△ 1.5	
在庫	指数	92.5	98.8	99.7	102.7	103.0	107.4	増 果実酒、清涼飲料(炭酸飲料除く)、混合植物油脂など 減 蒸留酒・混成酒(ウイスキー除く)、チョコレートなど
	対前年(期)末増減率%	△ 8.8	6.8	△ 3.2	3.0	0.3	4.3	

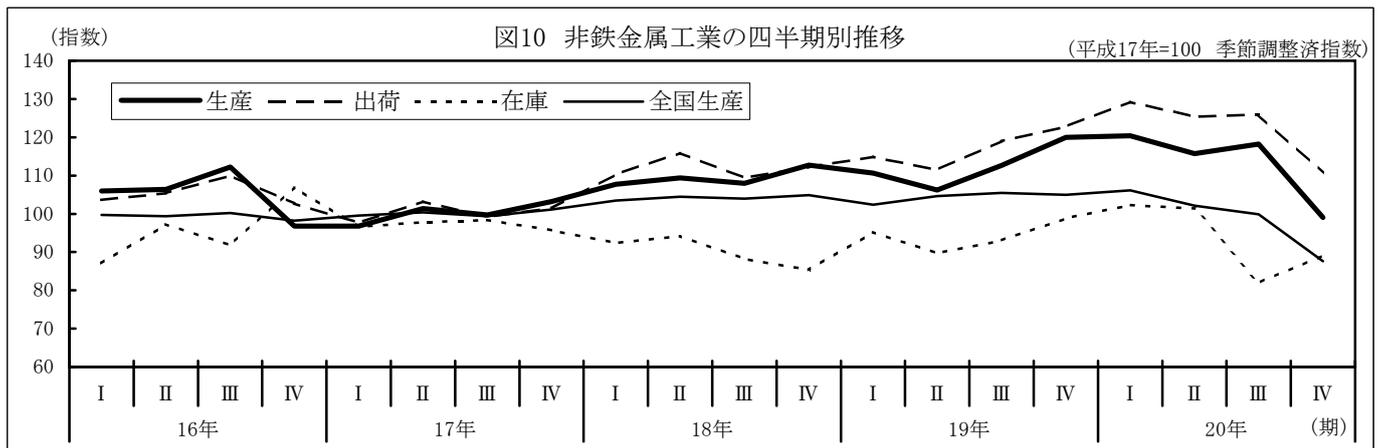
*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

(2) その他の業種の動向

<非鉄金属工業>

—生産、出荷とも3年連続の上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、113.7で前年比1.4%上昇し、3年連続して上昇しました。
品目別にみると、光ファイバや軽合金鋳物などが増加し、伸銅製品などが減少しました。
また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、99.0で前年比5.2%低下し、6年ぶりに低下しました。

<出荷>

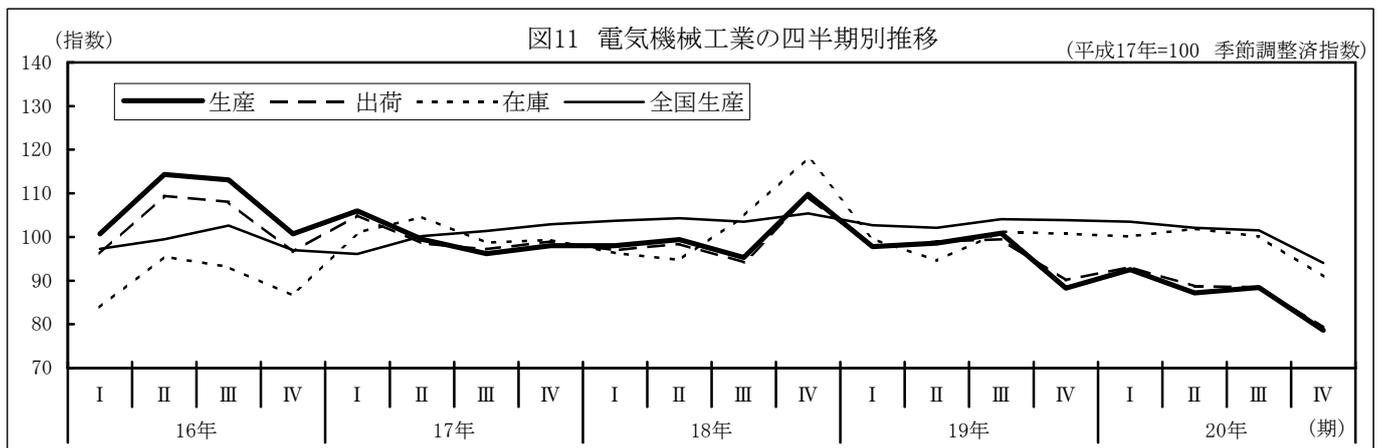
出荷指数(原指数)は、123.3で前年比5.6%上昇し、3年連続して上昇しました。
品目別にみると、光ファイバや銅電線などが増加し、伸銅製品などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、94.1で前年末比10.3%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、銅電線や通信用電線・ケーブルが減少し、伸銅製品が増加しました。

<電気機械工業>

—生産、出荷とも4年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、87.0で前年比9.6%低下し、4年連続して低下しました。
品目別にみると、その他の電子応用装置やマンガン乾電池などが減少し、交流電動機などが増加しました。
また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、100.4で前年比2.7%低下し、2年連続して低下しました。

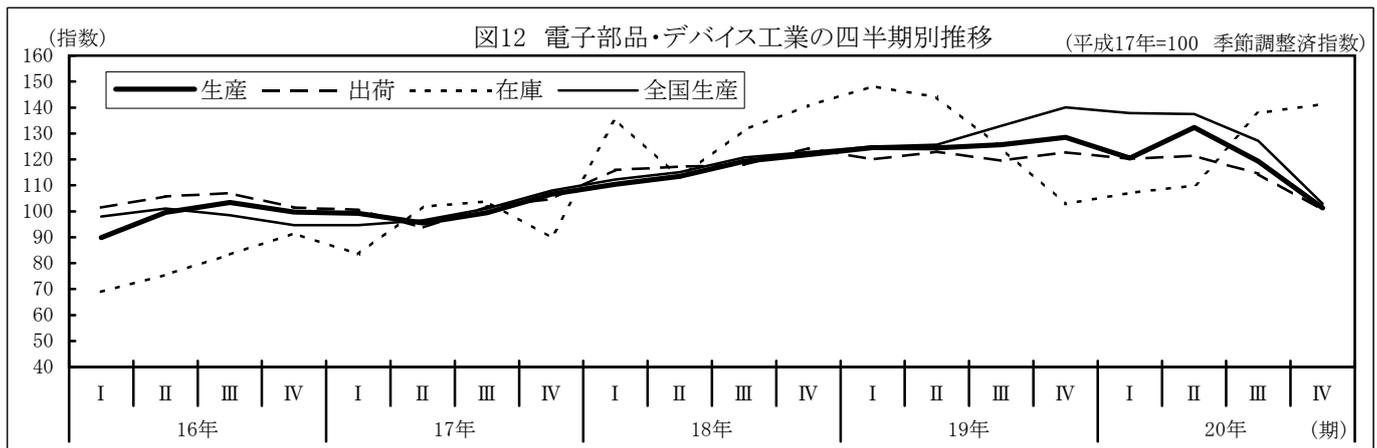
<出荷>

出荷指数(原指数)は、87.8で前年比9.0%低下し、4年連続して低下しました。
品目別にみると、その他の電子応用装置やマンガン乾電池などが減少し、交流電動機などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、97.0で前年末比9.1%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、蛍光灯器具や蛍光ランプなどが減少し、高圧放電灯器具が増加しました。

<電子部品・デバイス工業>－生産は5年ぶりの低下、出荷は3年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、118.7で前年比5.6%低下し、5年ぶりに低下しました。
品目別にみると、コネクタや磁気テープなどが減少し、線形半導体集積回路などが増加しました。
また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、126.3で前年比3.6%低下し、7年ぶりに低下しました。

<出荷>

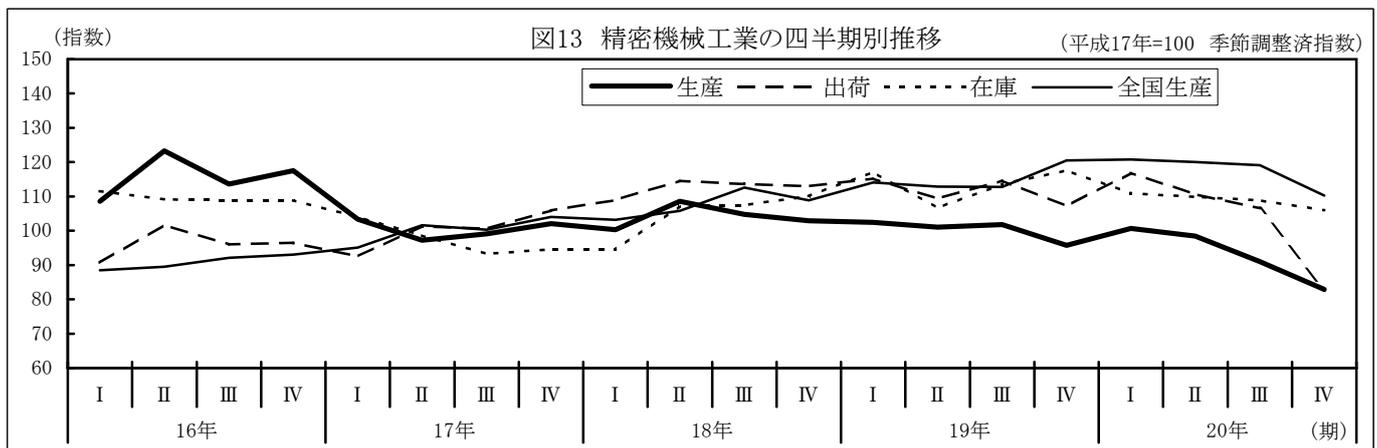
出荷指数(原指数)は、114.3で前年比5.7%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、光電変換素子やコネクタなどが減少し、線形半導体集積回路などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、147.0で前年末比36.9%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、線形半導体集積回路やモス型半導体集積回路(論理素子)などが増加しました。

<精密機械工業>

－生産、出荷とも2年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、93.1で前年比7.0%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、分析機器や積算体積計などが減少し、試験機が増加しました。
また、全国の精密機械工業の生産指数(同)は、117.6で前年比2.3%上昇し、6年連続して上昇しました。

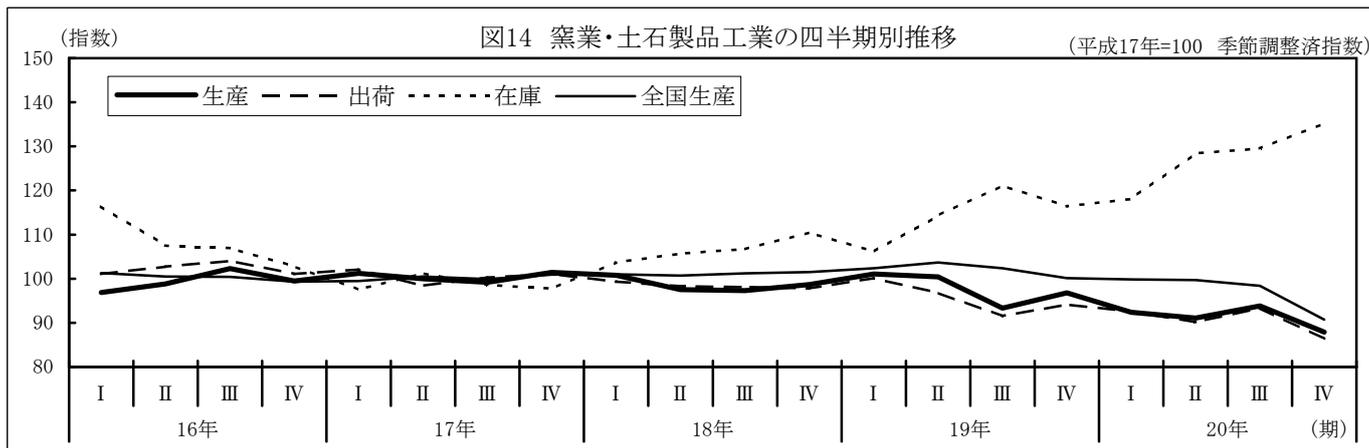
<出荷>

出荷指数(原指数)は、104.0で前年比6.6%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、測量機器や分析機器などが減少し、試験機が増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、110.4で前年末比9.0%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、精密測定機や工業用計重機などが減少し、試験機が増加しました。

＜窯業・土石製品工業＞ ー生産は3年連続の低下、出荷は8年連続の低下ー



＜生産＞

生産指数(原指数)は、91.5で前年比6.4%低下し、3年連続して低下しました。
 品目別にみると、生コンクリートや研削砥石などが減少し、ガラス基礎製品などが増加しました。
 また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、97.2で前年比4.7%低下し、3年ぶりに低下しました。

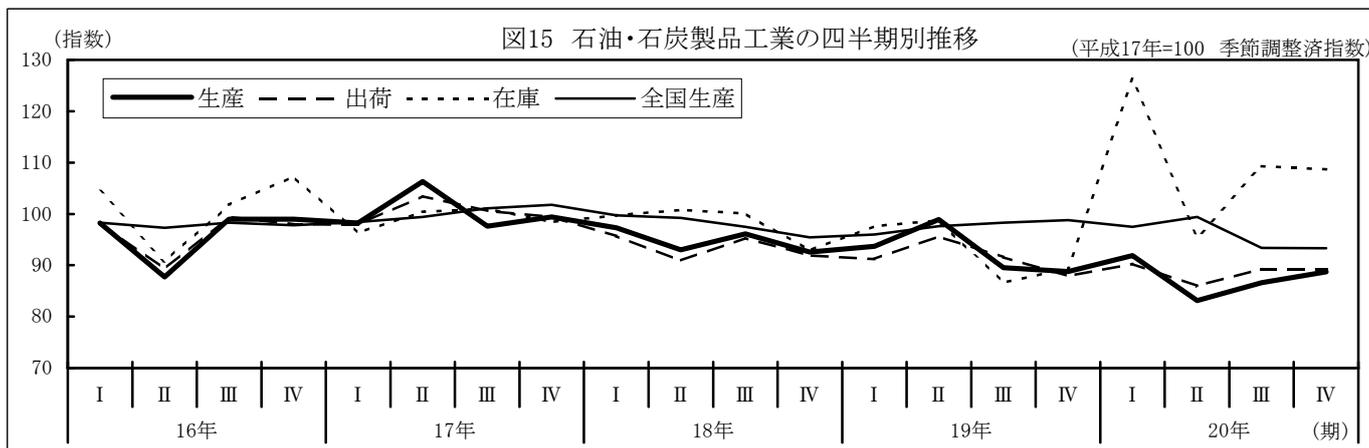
＜出荷＞

出荷指数(原指数)は、90.7で前年比5.0%低下し、8年連続して低下しました。
 品目別にみると、生コンクリートや研削砥石などが減少し、ガラス基礎製品などが増加しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、133.1で前年末比16.2%上昇し、3年連続して上昇しました。
 品目別にみると、板ガラスやガラス基礎製品などが増加し、遠心力鉄筋コンクリートなどが減少しました。

＜石油・石炭製品工業＞ ー生産、出荷とも3年連続の低下ー



＜生産＞

生産指数(原指数)は、87.8で前年比5.2%低下し、3年連続して低下しました。
 品目別にみると、ガソリンやA重油などが減少し、軽油などが増加しました。
 また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、96.0で前年比1.6%低下し、3年連続して低下しました。

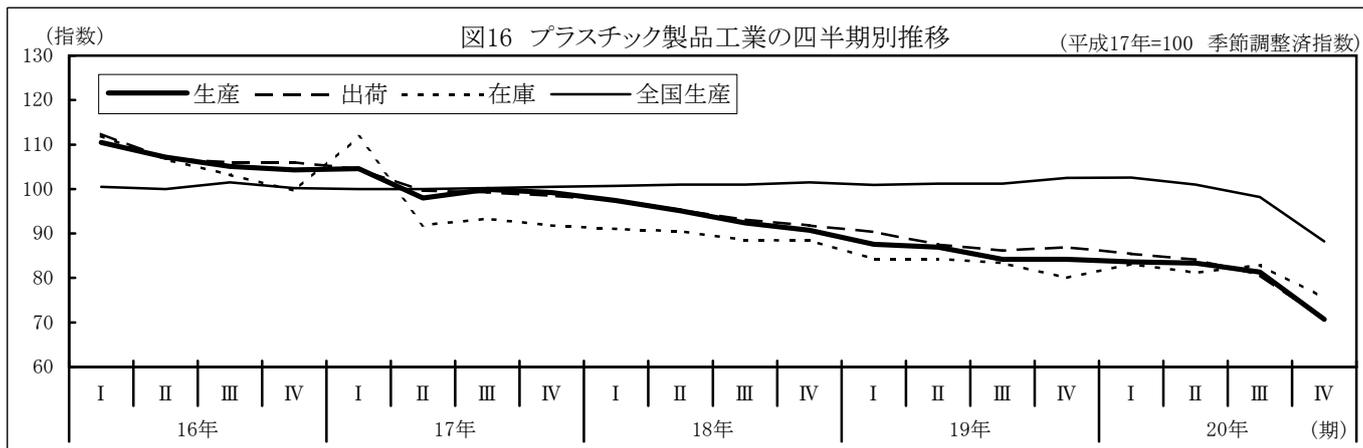
＜出荷＞

出荷指数(原指数)は、88.8で前年比2.8%低下し、3年連続して低下しました。
 品目別にみると、ガソリンやA重油などが減少し、軽油などが増加しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、106.4で前年末比16.9%上昇し、5年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、軽油やコークスなどが増加し、A重油などが減少しました。

＜プラスチック製品工業＞ ー生産、出荷とも5年連続の低下ー



＜生産＞

生産指数(原指数)は、79.7で前年比6.9%低下し、5年連続して低下しました。
 品目別にみると、プラスチック製板やプラスチック製機械器具部品などが減少し、プラスチック製容器が増加しました。
 また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、97.5で前年比3.8%低下し、3年ぶりに低下しました。

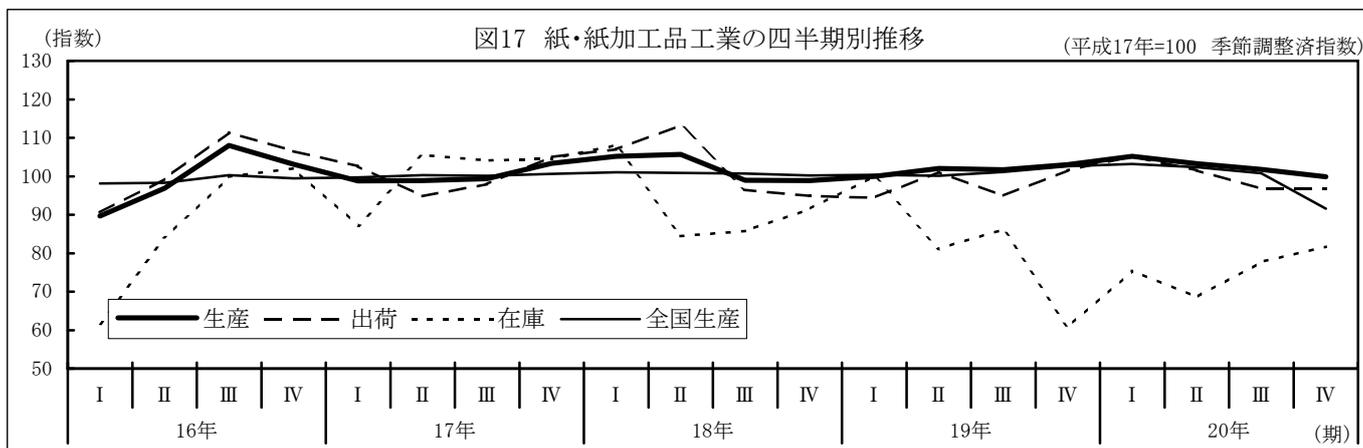
＜出荷＞

出荷指数(原指数)は、80.2で前年比8.4%低下し、5年連続して低下しました。
 品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製フィルム・シートなどが減少し、プラスチック製容器が増加しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、75.8で前年末比6.1%低下し、8年連続して低下しました。
 品目別にみると、プラスチック製フィルム・シートや強化プラスチック製品などが減少し、プラスチック製機械器具部品などが増加しました。

＜紙・紙加工品工業＞ ー生産、出荷とも2年ぶりの上昇ー



＜生産＞

生産指数(原指数)は、102.6で前年比0.9%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。
 また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、99.6で前年比1.4%低下し、5年ぶりに低下しました。

＜出荷＞

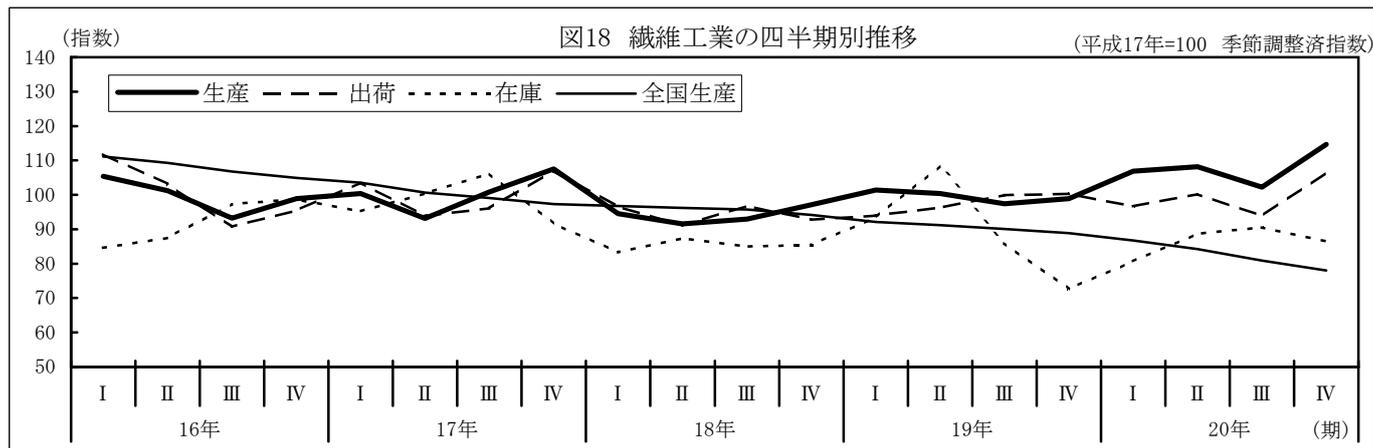
出荷指数(原指数)は、100.0で前年比1.8%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、67.8で前年末比30.1%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。

<繊維工業>

—生産、出荷とも2年連続の上昇—



<生産>

生産指数(原指数)は、108.4で前年比8.9%上昇し、2年連続して上昇しました。
 品目別にみると、合成繊維やニット・織物製外衣などが増加し、補整着などが減少しました。
 また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、82.5で前年比8.9%低下し、20年連続して低下しました。

<出荷>

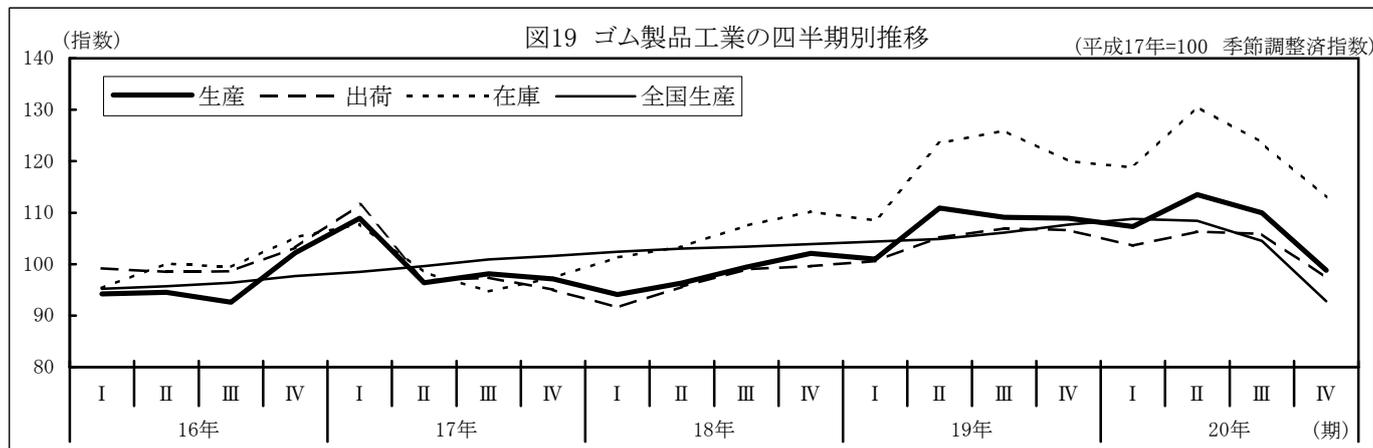
出荷指数(原指数)は、99.9で前年比2.6%上昇し、2年連続して上昇しました。
 品目別にみると、合成繊維やふとんが増加し、補整着などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、110.1で前年末比14.2%上昇し、5年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、合成繊維やニット・織物製外衣などが増加しました。

<ゴム製品工業>

—生産は2年連続の上昇、出荷は2年ぶりの低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、107.6で前年比0.3%上昇し、2年連続して上昇しました。
 品目別にみると、ゴムホースが増加し、工業用ゴム製品やコンベヤベルトなどが減少しました。
 また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、103.8で前年比1.8%低下し、7年ぶりに低下しました。

<出荷>

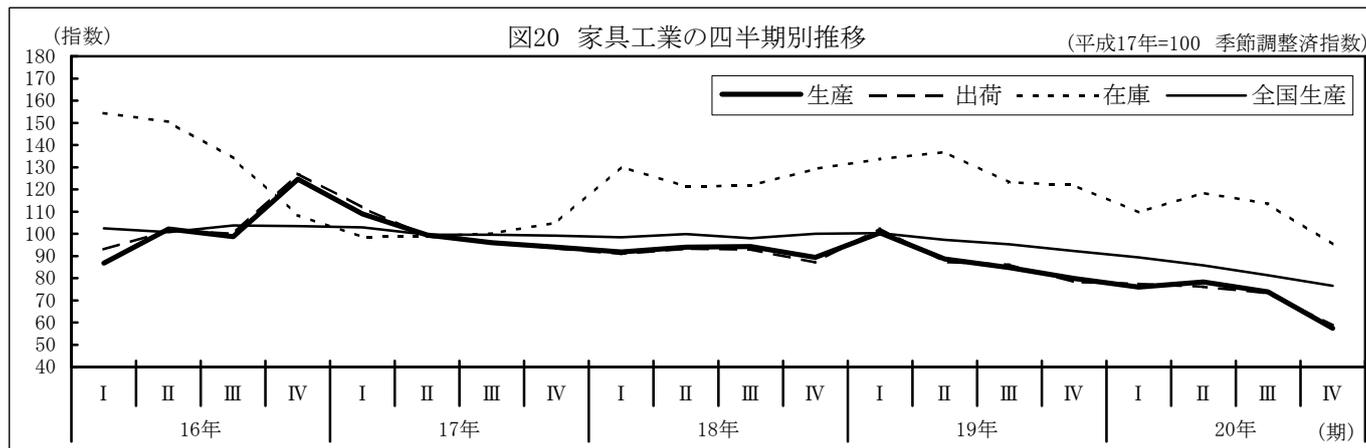
出荷指数(原指数)は、103.4で前年比1.2%低下し、2年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、工業用ゴム製品やコンベヤベルトが減少し、ゴムホースなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、110.5で前年末比6.8%低下し、3年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、ゴムホースや工業用ゴム製品などが減少し、コンベヤベルトが増加しました。

<家具工業>

—生産、出荷とも4年連続の低下—



<生産>

生産指数(原指数)は、71.9で前年比19.7%低下し、4年連続して低下しました。
 品目別にみると、金属製いすやその他の金属製家具などが減少しました。
 また、全国の家具工業の生産指数(同)は、83.4で前年比13.4%低下し、4年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、71.8で前年比19.8%低下し、4年連続して低下しました。
 品目別にみると、金属製いすや金属製棚・保管庫類などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、102.3で前年末比21.7%低下し、2年連続して低下しました。
 品目別にみると、金属製間仕切りやその他の金属製家具などが減少しました。

3 財別の出荷動向

ー 最終需要財は2年ぶりの上昇、生産財は5年ぶりに低下 ー

平成20年の出荷動向を特殊分類による財別でみると、**最終需要財出荷指数**（原指数）は、98.3で前年比0.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

また、**生産財出荷指数**（原指数）は、97.0で前年比3.7%低下し、6年ぶりに低下しました。

これらの財を四半期別（季節調整済指数）にみると、最終需要財はⅠ期は前期比1.3%低下、Ⅱ期は同0.3%上昇、Ⅲ期も同2.2%上昇、Ⅳ期は同10.9%低下しました。生産財はⅠ期は前期比0.5%上昇、Ⅱ期は同2.6%低下、Ⅲ期も同3.4%低下、Ⅳ期も同10.3%低下しました。

（1）最終需要財

ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数（原指数）は、112.1で前年比6.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、固定通信装置や鋼船などが増加し、掘さく機械などが減少しました。

建設財出荷指数（原指数）は、99.2で前年比8.6%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、生コンクリートやガス機器などが減少し、エレベータなどが増加しました。

イ 消費財（耐久消費財・非耐久消費財）

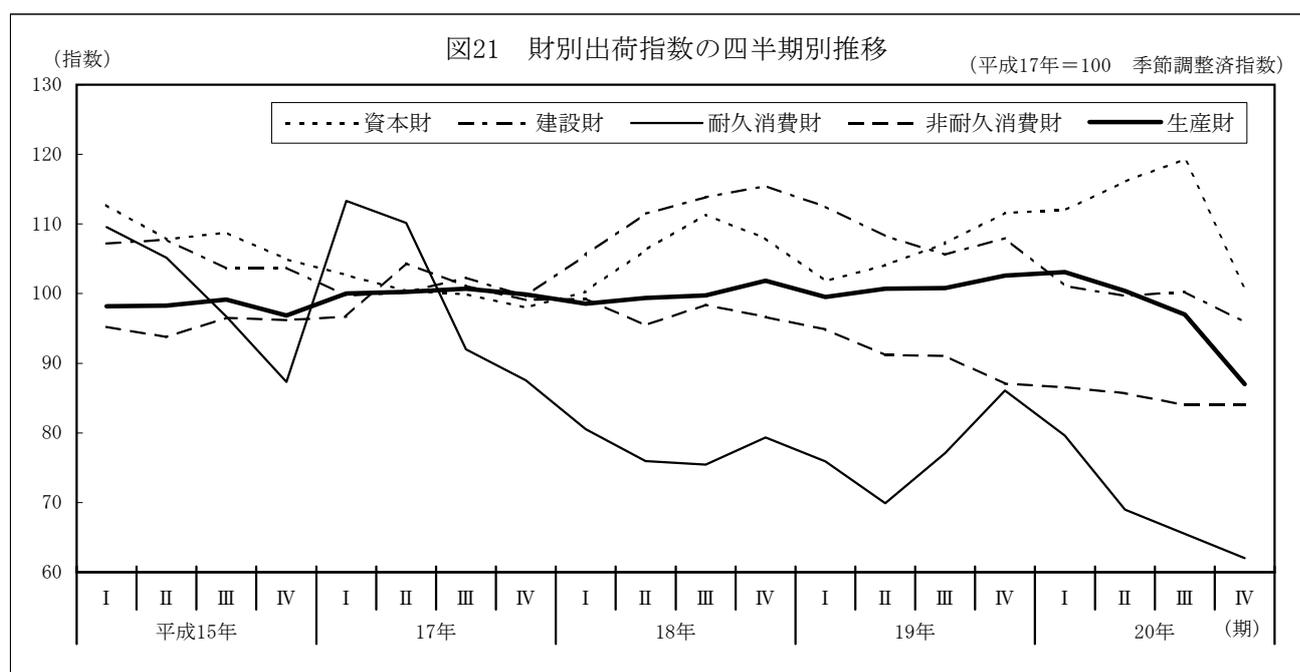
耐久消費財出荷指数（原指数）は、69.4で前年比10.2%低下し、3年連続して低下しました。品目別にみると、液晶テレビや普通乗用車などが減少し、小型乗用車などが増加しました。

非耐久消費財出荷指数（原指数）は、85.2で前年比6.3%低下し、3年連続して低下しました。品目別にみると、ガソリンや医薬品などが減少し、清涼飲料（炭酸飲料除く）などが増加しました。

（2）生産財

品目別にみると、乗用車ボデーや超硬工具などが減少し、軽油などが増加しました。

（P21表12、表13参照）



（特殊分類についてはP85、P87表14参照）

表 1 2 財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(平成17年=100)

財	年・期	17年	18年	19年	20年	20年				
						19年	年			
						IV	I	II	III	IV
製造工業	指数	100.0	100.5	99.2	97.7	101.7	101.2	100.1	100.5	88.9
	対前年(期)増減率%	△ 1.3	0.5	△ 1.3	△ 1.5	1.7	△ 0.5	△ 1.1	0.4	△ 11.5
最終需要財	指数	100.0	101.0	98.1	98.3	101.0	99.7	100.0	102.2	91.1
	対前年(期)増減率%	△ 3.4	1.0	△ 2.9	0.2	1.7	△ 1.3	0.3	2.2	△ 10.9
投資財	指数	100.0	107.2	106.0	110.9	111.2	111.0	114.5	117.7	100.2
	対前年(期)増減率%	△ 7.7	7.2	△ 1.1	4.6	4.0	△ 0.2	3.2	2.8	△ 14.9
資本財	指数	100.0	106.8	105.7	112.1	111.6	112.0	116.1	119.3	100.8
	対前年(期)増減率%	△ 7.9	6.8	△ 1.0	6.1	4.1	0.4	3.7	2.8	△ 15.5
建設財	指数	100.0	111.5	108.5	99.2	108.0	101.1	99.7	100.3	95.9
	対前年(期)増減率%	△ 5.6	11.5	△ 2.7	△ 8.6	2.3	△ 6.4	△ 1.4	0.6	△ 4.4
消費財	指数	100.0	92.4	87.2	80.8	87.2	84.2	81.3	79.5	78.2
	対前年(期)増減率%	3.3	△ 7.6	△ 5.6	△ 7.3	△ 0.2	△ 3.4	△ 3.4	△ 2.2	△ 1.6
耐久消費財	指数	100.0	78.6	77.3	69.4	86.1	79.6	69.0	65.5	62.0
	対前年(期)増減率%	0.3	△ 21.4	△ 1.7	△ 10.2	11.7	△ 7.5	△ 13.3	△ 5.1	△ 5.3
非耐久消費財	指数	100.0	97.6	90.9	85.2	87.1	86.6	85.7	84.0	84.0
	対前年(期)増減率%	4.5	△ 2.4	△ 6.9	△ 6.3	△ 4.4	△ 0.6	△ 1.0	△ 2.0	0.0
生産財	指数	100.0	100.0	100.7	97.0	102.6	103.1	100.4	97.0	87.0
	対前年(期)増減率%	1.7	0.0	0.7	△ 3.7	1.8	0.5	△ 2.6	△ 3.4	△ 10.3

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整指数

表 1 3 財別出荷指数の上昇又は低下に寄与した主要品目

財	対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目		
			増	減	
上昇	資本財	6.1	1.96	増	固定通信装置、鋼船、ろ過・分離機器など
				減	掘さく機械、真空ポンプなど
低	生産財	△ 3.7	△ 1.57	増	軽油、蒸気タービン部品など
				減	乗用車ボデー、超硬工具、A重油など
下	非耐久消費財	△ 6.3	△ 1.01	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、チョコレートなど
				減	ガンソリン、医薬品、化粧品など
下	耐久消費財	△ 10.2	△ 0.53	増	小型乗用車、補聴器など
				減	液晶テレビ、普通乗用車、ビデオカメラなど
下	建設財	△ 8.6	△ 0.30	増	エレベータ、セメントなど
				減	生コンクリート、ガス機器、換気扇など